

わらば〜

沖縄にて『株式会社わらばー』
が登記登録されました！

沖縄で新しい訪問看護ステーションを立ち上げるに際し、より地域に愛される企業になれる様“株式会社わらばー”として沖縄で新しいスタートを切ります。

「わらばー」とは、沖縄の表現で「こども達」という意味。

こども達の生活を在宅医療の力で支えていけるような会社になって行くこと間違いなしです！



訪問看護ステーション

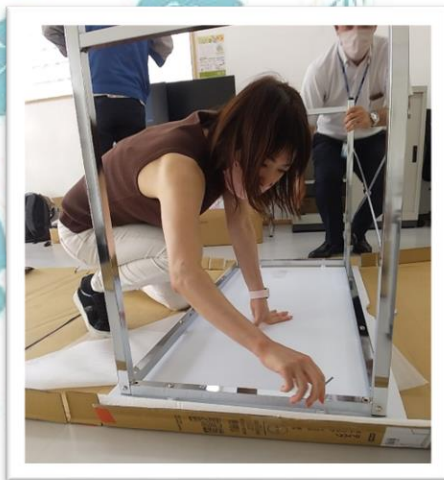
わらば〜

訪問看護ステーションわらばー
10月にオープン予定です!!

整備が進む事務所の様子を、先だってお見せしちゃいます♡



沖縄の日差しがたっぷりの明るい事務所



社長もお手伝い！



少し改装しました♪



徐々に事務所らしくなっています。



社員インタビュールール



現場のスタッフさんをご紹介しますコーナーです。
保育部門、看護部門それぞれリレー形式です。次はあなたの所かも？

広…広報から質問

保育スタッフ④

リトルワールドおおくぼ園 山下彩乃先生



弟のお迎えの時の
保育士さんを今でも
覚えています。

保育士を目指したのは、7つ年の離れた弟との関わりが大きかったと思います。兄もいたのですが、弟が産まれて家族がお世話している姿や、自分も関わる中で小さい子って可愛いなと感じていました。

広：小さいころからの夢が叶ったという感じですか？

山：母は看護師だったので看護師を考える時期もありました。しっかり自分の進路として見据えたのは高校の進路相談の時「保育士の道もあるんじゃないか？」と先生に言われ保育系の学校を見学しました。

広：そこで、夢が一つに定まったのですね。

山：絵や制作をするのは元からとても好きだったので。見学してからは自分の中でストンと納得できた進路でした。実習の時は泣きそうになる時もありましたが、同じ目標の子が多くいる学校生活は本当に楽しかったです。

広：もともと関西の方なのですか？

山：産まれは関東です。もともと関東の保育園に勤めていましたが、結婚を機に関西に引っ越して来ました。

広：関西弁少し感じますがそこまで強くないなと思って！

山：なまってますか？(笑)最初は正直、方言に戸惑う事もありました。意味がわからない！と。『これなおしとって～(★)』は今でこそ意味はわかりますが当時は本当に「??」でした(笑) いまだに自分では使いこなせない表現の一つです。

広：関西での保育士生活はどうですか？

山：おおくぼの先生たちはとても経験豊富な方が多くて子どもを引き付ける保育の技1つとっても、すごく勉強になっています。私の課題として緊張すると早口になってしまう事があるので落ち着いてゆっくり話すように意識しています。今自分に出来ることを全力でやらせてもらっています！

広：新しい環境でのリフレッシュ法は？

山：徐々に“推し”ができたので追っかけています。オタ活です笑

広：ズバリ、誰でしょう？

山：なにわ男子の“大西流星”くんです！もともとNEWSのまっすーが好きだったのもあるのですが、今年に入ってYoutubeでなにわ男子がお勧めに出てくるのを見ていたら、見事にはまりました(笑)ファンクラブ会員です。

広：すごい!!!笑

山：ぜひ見て下さい！コンサートに行くのを目標に今は頑張っています♪

♡カワイイ♡



志高く楽しんで生活をされている様子がインタビューの中から感じられ、元気をもらいました♪“オタ友達”募集中のようですよ！
“なにわ男子ファン”な社員さんご一報下さい！笑

看護スタッフ④

ありす訪問看護八幡西ステーション 看護師 今井 愛里さん



“ナースのお仕事“^(※1)
の世界感に憧れて…

『幼稚園の頃に妹が入院したので看護師さんと関わる機会も多かったのに加えて、その後観たドラマの“ナースのお仕事“にも影響を受けました。』

広：当時、あのドラマは全女子が見ていましたね(笑) その後はまっすぐ看護の道へ？

今：そうですね。そのまま看護の大学へ進学して、妹の入院の時に関わっていた小児科の看護師さんに自分もなりたいたいという気持ちでNICU^(※2)に入りました。

広：印象に残っている事がありますか？

今：家族との関りは大変な事も多かったです。“500g”で産まれてきた子を前に、我が子であっても長く抱っこ出来ない、触る事も出来ないというご家族の方もいらっしゃいました。

広：500g…小さいですね。(ペットボトル500mlの重さ)

今：“普通の子とは違う”のは感覚としてあると思います。そこから、母と子二人三脚で成長していく。そんな成長を見ていけるNICUは、大変でしたが、やはりそれを上回るやりがいもありました。

(※1) ナースのお仕事⇒看護師の成長を描いた大ヒットドラマ。

(※2) NICU⇒(Neonatal Intensive Care Unit: 新生児特定集中治療室)

広：大体どのくらいの期間関わるのでしょうか？

今：NICUでは大体生後1か月くらいですね。退院後の赤ちゃんやご家族ともかかわって行きたいという気持ちが出てきて在宅医療の道に入りました。

広：お休みの日のリフレッシュ法はありますか？

今：看護師の友達と食事に行ったりします。いろいろ情報交換もできます。家でゆっくりと言うよりは、外に出ることが多いです！看護師じゃなかったら国際線のCAになって海外を飛び回りたいかったです。身長が153センチしかないの…

広：あ～!!身長が足りないのですね!笑

今：はい(笑)でもバスケットをしていました。今は観る専門で、プロバスケットの有料chに登録してよく試合を見ていました。

広：好きなんですね!応援しているチームは？

今：島根のチームです!“山下泰弘”と言う、もともと福岡のチームにいた選手をずっと応援しています。移籍になったので、今は島根のチームを推しています! ♡カッコいい♡



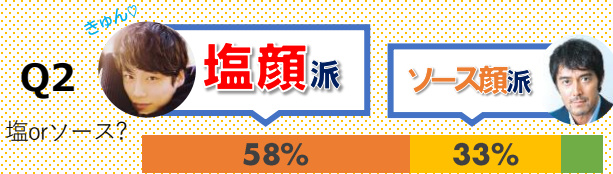
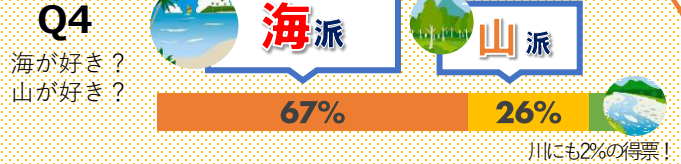
広：今後も仕事に推しに頑張ってくださいね!

今：「信頼」されて「安心」できる看護師さんになる為に、勉強をして知識を増やしたいです!

利用者さんに安心感を持ってもらうため「知識をつけたい」と言い切った姿にとってもパワーをもらいました。
前向きになれるお話をありがとうございました。

みなさんに聞きました!あなたはどっち派?

Branchesの“多数派”決めちゃいました。たくさんのご回答ありがとうございました!



わりと均衡を保った結果が多い中、圧倒的な“海派”多数が印象的な結果となりました!
今年の夏は海に川にたくさん思い出作ってくださいね!

Mitsueの部屋

沖縄で開催された18トリソミーの子どもたちの写真展に行ってきました。みんな、18トリソミーって知ってる?短命と言われている18トリソミーの子どもたちと、その家族との絆が伝わる写真展でした。改めて、子どもに携わる仕事をさせていただいていることに感謝する1日だったし、元気な子も、障がいがある子も、どんな子どもでも命があって、親がいて、周りで支える人がいて…。



そのうちの1人になれればいいなあと思いました。

そして、いつも沖縄出張の時には夫婦で見送りをしてくれる赤嶺夫妻♡
いつもありがとう!いつか、みんなと一緒に沖縄旅行行きたいなあ〜♡
本気で計画します☺



【インタビュー記事の★】

『なおしとって』は、関西でも使われる方言で“片付けて”の意味。関東では主に“修理して”の意味で使われるので戸惑いますね!福岡も片付ける意味で使いますが、修理のお願いも「なおしとって」なんですよね…確かにむずかしいかもです🐾

【編集後記】

8月がやって来ました!夏です!
ウクライナ支援の企業説明会で、学生の皆さんが日本語と英語でスピーチをする動画を見ました。忘れてはいけないのは彼女たちの第一言語は“ウクライナ語”である事。第一言語ではない言葉を使い自分の思いを話すとて本当にすごいです。少し英語をかじっている田嶋。支援したい思いが、逆にものすごく背中を押されてしまった。今年の夏は最近はやりの“ソロキャン”ではなく、“ネイティブキャンプ(オンライン英会話スクール)”で英語の特訓じゃ!

【取材・記事・編集】管理本部人事課広報:田嶋みほ
営業本部営業企画課:小田代りえ

【次回の予定】

BranchesIsm秋号は、2022年11月発行予定です。
わらば一のOPENの様子などお届けします。お楽しみに…
※場合によって変更する場合があります。

【社報紙についてお問合せ】



管理本部人事課広報まで

公式LINEアカウント



ご意見箱からどうぞ。